

特許協力条約

PCT

特許性に関する国際予備報告（特許協力条約第二章）

（法第 12 条、法施行規則第 56 条）

〔PCT36 条及び PCT 規則 70〕

REC'D 02 MAR 2006

WIPO

PCT

出願人又は代理人 の書類記号 F1040781W000	今後の手続きについては、様式 PCT/IPEA/416 を参照すること。	
国際出願番号 PCT/J P 2004/015587	国際出願日 (日.月.年) 21. 10. 2004	優先日 (日.月.年) 31. 10. 2003
国際特許分類 (IPC) Int.Cl. H04N5/76(2006.01), G06K9/00(2006.01), H04M1/00(2006.01), H04M11/08(2006.01)		
出願人 (氏名又は名称) 三洋電機株式会社		

- この報告書は、PCT35 条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。
法施行規則第 57 条 (PCT36 条) の規定に従い送付する。
- この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 3 ページからなる。
- この報告には次の附属物件も添付されている。
 - ☒ 附属書類は全部で 1 ページである。
 - ☒ 補正されて、この報告の基礎とされた及び／又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び／又は図面の用紙 (PCT 規則 70.16 及び実施細則第 607 号参照)
 - ☐ 第 I 欄 4. 及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの国際予備審査機関が認定した差替え用紙
 - ☐ 電子媒体は全部で (電子媒体の種類、数を示す)。
配列表に関する補充欄に示すように、電子形式による配列表又は配列表に関連するテーブルを含む。
(実施細則第 802 号参照)

4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。

- ☒ 第 I 欄 国際予備審査報告の基礎
- ☐ 第 II 欄 優先権
- ☐ 第 III 欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成
- ☐ 第 IV 欄 発明の単一性の欠如
- ☒ 第 V 欄 PCT35 条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明
- ☐ 第 VI 欄 ある種の引用文献
- ☐ 第 VII 欄 国際出願の不備
- ☐ 第 VIII 欄 国際出願に対する意見

国際予備審査の請求書を受理した日 02. 06. 2005	国際予備審査報告を作成した日 20. 02. 2006	
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/J P) 郵便番号 100-8915 東京都千代田区鍛冶関三丁目 4 番 3 号	特許庁審査官 (権限のある職員) 星野 昌幸	5 C 3 4 5 1
電話番号 03-3581-1101 内線 3541		

様式 PCT/IPEA/409 (表紙) (2005 年 4 月)

第I欄 報告の基礎

1. 言語に関し、この予備審査報告は以下のものを基礎とした。

- ☒ 出願時の言語による国際出願
☐ 出願時の言語から次の目的のための言語である _____ 語に翻訳された、この国際出願の翻訳文
☐ 国際調査 (PCT規則12.3(a)及び23.1(b))
☐ 国際公開 (PCT規則12.4(a))
☐ 国際予備審査 (PCT規則55.2(a)又は55.3(a))

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に回答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

☐ 出願時の国際出願書類

☒ 明細書

第 1-5 _____ ページ、出願時に提出されたもの
 第 _____ ページ*、 _____ 付かで国際予備審査機関が受理したもの
 第 _____ ページ*、 _____ 付かで国際予備審査機関が受理したもの

☒ 請求の範囲

第 3, 4 _____ 項、出願時に提出されたもの
 第 _____ 項*、PCT 19条の規定に基づき補正されたもの
 第 1, 2 _____ 項*、19.12.2005 付かで国際予備審査機関が受理したもの
 第 _____ 項*、 _____ 付かで国際予備審査機関が受理したもの

☒ 図面

第 1-4 _____ ページ/図、出願時に提出されたもの
 第 _____ ページ/図*、 _____ 付かで国際予備審査機関が受理したもの
 第 _____ ページ/図*、 _____ 付かで国際予備審査機関が受理したもの

☐ 配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3. ☐ 補正により、下記の書類が削除された。

- ☐ 明細書 第 _____ ページ
☐ 請求の範囲 第 _____ 項
☐ 図面 第 _____ ページ/図
☐ 配列表 (具体的に記載すること) _____
☐ 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること) _____

4. ☐ この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則 70.2(c))

- ☐ 明細書 第 _____ ページ
☐ 請求の範囲 第 _____ 項
☐ 図面 第 _____ ページ/図
☐ 配列表 (具体的に記載すること) _____
☐ 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること) _____

* 4. に該当する場合、その用紙に "superseded" と記入されることがある。

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条(PCT35条(2))に定める見解、
それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性(N)	請求の範囲 1-4	有
	請求の範囲	無
進歩性(IS)	請求の範囲	有
	請求の範囲 1-4	無
産業上の利用可能性(IA)	請求の範囲 1-4	有
	請求の範囲	無

2. 文献及び説明(PCT規則70.7)

文献1: JP 2003-115139 A (キヤノン株式会社) 2003.04.18, 段落【0063】, 図4
 文献2: ASCII, "ボーダフォン、TVチューナー搭載携帯電話「V601N」を12月に
 降に発売-連続視聴時間は最大60分", [online], 2003.10.14, ASCII
 Corporation, [2005.11.17 検索], インターネット<URL: <http://k-tai.ascii24.com/k-tai/news/2003/10/14/646372-000.html>>
 文献3: JP 8-307729 A (エスエムケイ株式会社) 1996.11.22, 段落【0030】-【0064】
 文献4: JP 2002-261959 A (ソニー株式会社) 2002.09.13, 段落【0127】-【0131】,
 図19
 文献5: JP 2000-32111 A (セイコーエプソン株式会社) 2000.01.28, 段落【0035】-
 【0050】

請求の範囲1に係る発明は、新たに引用された文献1と国際調査報告で引用された文
 献3より進歩性を有しない。文献1には放送受信機能及び受信放送録画再生機能を有
 することは開示されていないが、携帯電話に放送受信機能と映像を動画として記録す
 ることは周知技術である(例えば新たに引用された文献2を参照)。また、文献1に
 は撮影画像から数値列であるGコードを文字認識することが記載されており、Gコー
 ドをデコードすること、及び、切り出した文字列をGコードの辞書と比較し、Gコー
 ドを構成する文字であるかどうかを判断することが文献3に記載されている。

請求の範囲2に係る発明は、文献1、3と国際調査報告で引用された文献4より進歩
 性を有しない。画像の送受信及び録画予約データを他の利用者へ電子メールで送信す
 ることは文献4に記載されている。

請求の範囲3に係る発明は、文献1、3又は文献1、3、4より進歩性を有しない。
 文字認識で取得した予約録画コードをデコードして得られる情報を表示することは
 文献3に記載されている。

請求の範囲4に係る発明は、文献1、3と国際調査報告で引用された文献5又は文献
 1、3-5より進歩性を有しない。複数のコードの存在を判断した場合に、順次に確
 認させることは文献5に記載されている。

請求の範囲

- [1] (補正後)放送受信機能と受信放送録画再生機能とデジタルカメラ機能とを搭載した携帯型電話装置であって、デジタルカメラ撮像画像上の文字認識を行う手段と、文字認識された文字のなかから自動的に数値列を抽出し、この抽出した数値列をデコードし、当該数値列が有効な予約録画コードであるかどうかを判断する手段と、文字認識で取得した予約録画コードに基づいて放送を受信して録画を行う手段と、を備えたことを特徴とする携帯型電話装置。
- [2] (補正後)放送受信機能と受信放送録画再生機能と画像メール受信機能とを搭載した携帯型電話装置であって、メール受信した画像上の文字認識を行う手段と、文字認識された文字のなかから自動的に数値列を抽出し、この抽出した数値列をデコードし、当該数値列が有効な予約録画コードであるかどうかを判断する手段と、文字認識で取得した予約録画コードに基づいて放送を受信して録画を行う手段と、を備えたことを特徴とする携帯型電話装置。
- [3] 請求項1又は請求項2に記載の携帯型電話装置において、文字認識で取得した予約録画コードをデコードして得られる録画予約に必要な情報を画面に提示して録画予約の確認を行わせるように構成されたことを特徴とする携帯型電話装置。
- [4] 請求項3に記載の携帯型電話装置において、複数の予約録画コードの存在を判断した場合に、各予約録画コードに基づいて順次に録画予約に必要な情報を画面に提示して録画予約の確認を行わせるように構成されたことを特徴とする携帯型電話装置。